

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、年度末の要支給額を計上している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金のほか、預り金、法人税等引当金を含めている。

2.基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産				
定期預金	4,000,000	0	0	4,000,000
退職給付引当資産	432,000	117,000	0	549,000
合 計	5,432,000	117,000	0	5,549,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産正 からの充当額	うち負債に対する額
基本財産				
定期預金	1,000,000	0	1,000,000	0
特定資産				
定期預金	4,000,000	0	4,000,000	0
退職給付引当資産	549,000	0	549,000	0
周年行事積立資産	0	0	0	0
合 計	5,549,000	0	5,549,000	0

4.引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	432,000	117,000	0	549,000

5.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照上の 記載区分
全法連助成金	全法連	0	5,343,100	5,343,100	0	指定正味財産
全法連補助金	全法連	0	200,000	200,000	0	
県法連補助金	県連	0	315,000	315,000	0	
合 計		0	5,858,100	5,858,100	0	

6.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	5,343,100